

八戸工業大学

機械工学科 基礎・応用機械工作実習による

第五回 ロボットコンテスト

競技課題テーマ「火星探査車ローバーめざして」



開催期間 : 平成 14 年 7 月 18 日～7 月 19 日

会場 : 尚志館

参加学生 : 機械工学科 3 年生 63 名

ロボット台数 : 15 台

主催 : 機械情報技術学科

共催 : 工作技術センター

初日（H14 年 7 月 18 日）
リハーサルを兼ねた予選を行った。



会場の準備が完了

大会前 競技上のルール・
注意等の説明があった



予選は鉱石を一つ以上乗せて、翌日の本選出場となる。
（全グループ予選通過！）

ロボット大会本選の日（H14年7月19日）



「開会式」
加賀機械情報技術学科長の挨拶
(司会は小嶋先生)

栗原先生の挨拶



選手宣誓

『坂本 清法』君が選手を代表して宣誓をしました

本選は

- ①グループリーグ対決「全 15 チームの出場」
(4 チームを 4 ブロックに分け、各ブロック 1 位のチームが
決勝トーナメントに進出する)
- ②決勝トーナメント「4 チーム出場」
優勝・準優勝・3 位決定戦を行う。

*試合時間は 90 秒で行う。

平成14年度 第5回ロボットコンテスト
本戦組合せ 青 派

ブロック	チーム名	対戦相手	結果
A	A1	A2	1-0
	A3	A4	1-0
	A5	A6	1-0
	A7	A8	1-0
B	B1	B2	1-0
	B3	B4	1-0
	B5	B6	1-0
	B7	B8	1-0
C	C1	C2	1-0
	C3	C4	1-0
	C5	C6	1-0
	C7	C8	1-0
D	D1	D2	1-0
	D3	D4	1-0
	D5	D6	1-0
	D7	D8	1-0

2002 7 19



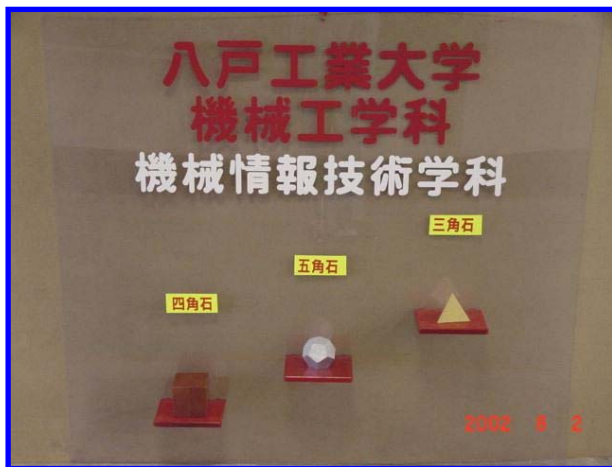
「試合会場」

- ・ 5m×5m のフィールド
- ・ 審査員席、その他で観覧出来る。
- ・ 今回は、M 科 2 年生の学生も観戦した

競技は学生 2 人ずつ、自グループのロボットを操縦して
決められた場所に、3 種類の鉱石を乗せて得点を競う



ゴールエリアについて



それぞれの高さは・・・

- 1) 四角石→150mm
- 2) 五角石→250mm
- 3) 三角石→350mm

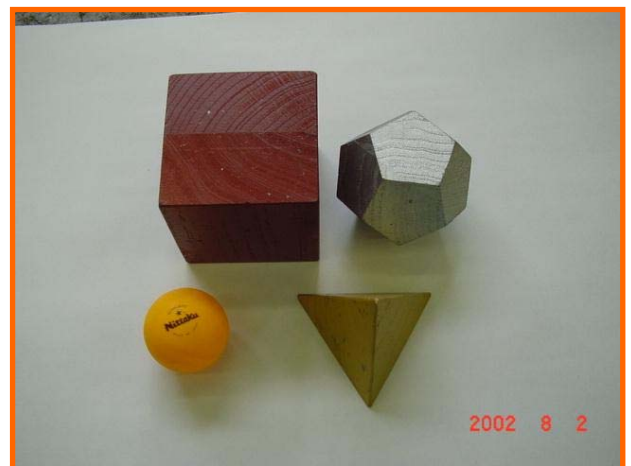
3種類の鉱石を、決められた場所に乗せるルールです。

鉱石について・・・

各鉱石とも、大きさが 65mm
木製品で金・銀・銅の色彩。

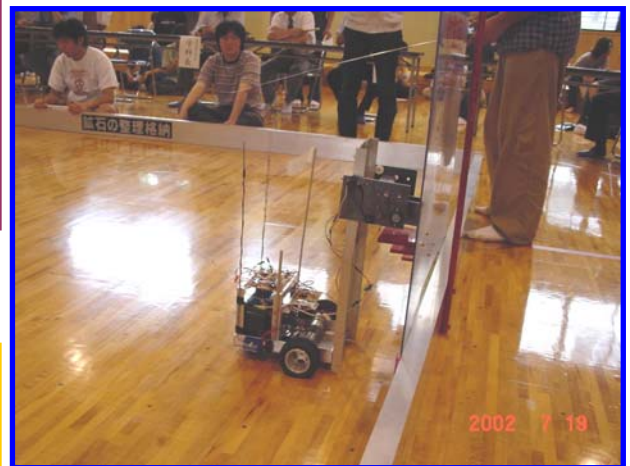
得点は、金 3 点・銀 2 点・銅 1 点で
乗せた合計点で勝負が決まる。
(3 角石が乗せにくい)

(昨年は軟式テニスボール・ゴルフボール・
ピンポン球を使用)

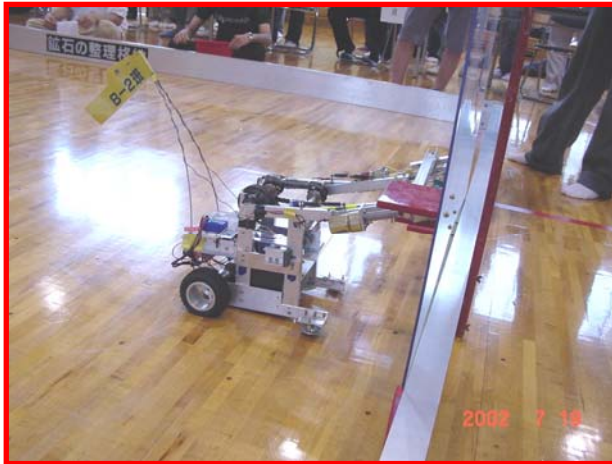


競技時間は 90 秒です

趣向を凝らしたロボットの動きです



観戦する方も興味津々です



**「自分達で製作したロボットを、自分達で操縦し、
対戦相手に負けないように、学生も真剣です。」**



全ての競技が終了。閉会式を実施しました。



「閉会式」
学生全員が整列

栗原先生の講評



左が優勝カップ
右が優勝グループ個人に贈呈
されます。

続いて表彰式へ
機械情報技術学科長賞は
B-7 班「ロシダンテ（仮）」



工作技術センター所長賞は
A-2 班「3 丁目のイトウ」



敢闘賞（4位）は A-4班「ペンタゴン」

『車検では、「規格外」→再車検となり、ハラハラしましたが見事敢闘賞受賞です。』
表彰状が授与されました。



3位は A-1班「パシリくん2号」

『ヒモを使った機構で、本番で切れるハプニングがありました、しぶとく3位入賞です。』
表彰状が授与されました。



準優勝は B-2班「ロボスター」

『リンク機構を使い、手の込んだロボットで、人間の関節に似た動きが特徴でした』
表彰状が授与されました。



優勝は B-3班「ISO-JIN」

『予選から全試合、鉱石3種類全て乗せて、パーフェクトな試合運びで、周囲を納得させるロボットでした』
優勝カップ・表彰状が授与されました。



優勝メンバーです

看板・掲示物一覧です。



今回は本学正面にも
掲示しました。

ロボコン大会会場の
「尚志館」前



会場内の掲示